



1998年06月17日

ゴルフの累計生産台数1,800万台を突破

ウォルフスブルク発:

'98年6月9日(火)、フォルクスワーゲン本社ウォルフスブルク工場から1,800万台目のゴルフがラインオフしました。1つのモデルがこれだけの台数を生産するのは、自動車史上においても希に見る記録です。当日、フォルクスワーゲンでは人事部門責任者のDr. ピーター ハーツや労働評議会議長のクラウス フォルカート、そして工場長のDr. ゲラルド ウェーバーらが、来賓や社員と共に記念式典を行いました。

記念すべき1,800万台目は、4ドアで81kW(110PS)エンジンを搭載したジャズブルーのゴルフでした。ゴルフは、1974年4月に最初のゴルフを生産して以来、サクセスストーリーの象徴として位置づけられてきました。ゴルフの生産台数は、生産開始2年後には100万台を、さらに1988年には1,000万台を突破し、1994年には1,500万台を突破しました。そして、ゴルフは市場導入以来、ドイツで最も親しまれ、愛される車となりました。

今回のゴルフ記念式典において、Dr.ハーツ氏は次のように述べました。「私達、全てのフォルクスワーゲン グループは、ウォルフスブルクやモーゼル、プラティスラバ、ブリュッセル、そして南アフリカやブラジルで生産されているゴルフを非常に誇りに思っています。ゴルフの特徴は、高い品質とコストパフォーマンスにあります。フォルクスワーゲンは、ゴルフの装備レベルを常に改善し、従来モデルよりもさらに高いコストパフォーマンスでゴルフを市場に提供し続けてきました。フォルクスワーゲンは、ゴルフの持つ特徴をさらに際立たせることによりこのモデルを成功に導いたのです。」

事業所委員会のフォルカートはそのスピーチの中で、「この調子で生産が続けば、2000年にはゴルフの生産は2,000万台を突破して、20世紀最後の年を祝う事ができるでしょう。」と述べました。また、工場長のDr. ウェーバーはこの製造記念式典で、ウォルフスブルク工場の重要性を強調しています。「ここ数ヶ月間で、工場内に操業以来のすばらしい変革が成し遂げられました。ゴルフ生産のために、新たに最新の3つの生産工場が増設されました。つまり、今後のさらなる成功につながる基礎が作り上げられたのです。」

多くの人に永年にわたり愛され続けているゴルフ。その4世代目は、この夏日本に導入される予定です。